科名 外科

外科74

対象疾患名 転移性乳がん

プロトコール名 BEV+PTX

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	 8	··· 15	 28
1	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ 残ハキ可	1	\downarrow	Ţ	
2	点滴注	側管	アバスチン	10mg/kg	医師の指示通り	1		Ţ	
			生食	100mL					
3	点滴注	側管	デキサート注	6.6~19.8mg	30分かけて	1	1	Ţ	
			ファモチジン注	20mg					
			生食	50mL					
4	点滴注	側管	ネオレスタール注	10mg	30分かけて	1	1	Ţ	
			生食	50mL					
5	点滴注	側管	パクリタキセル注	90mg/m²	1時間かけて	1	1	Ţ	
			生食	250mL	専用ルート使用 ※壊死性抗癌剤				

★1クール=28日

~MEMO~

催吐レベル2(30~10%)

〈パクリタキセル〉

禁忌:薬剤アレルキーの既往の多い症例,アルコール含有,アルコールアレルキーの確認要

アレルキー好発時期:初回、2回目(投与開始から10分間はベッドサイドを離れない)

PVCフリーかつフィルター付き(回路名:JY-PF340P52)を使用

薬剤特徵:1mL=20滴⇒滴下数1.6倍(90滴/分×1h)

〈アバスチン〉

アバスチンは生食で希釈。(薬効が落ちる)

アバスチンは初回90分で点滴静注、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目は60分で行ってもよい。2回目の忍容性も良好であれば、以降30分投与もできる。

大きな手術(開腹手術等)後28日以内には投与しないこと。